

2018 年度事業報告

平成 30 年 度 事 業 報 告 書

(期間：2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)

法人の名称 特定非営利活動法人 ダイヤモンド・フォー・ピース

1 事業の成果

2018 年度は、①啓発事業においては英語ウェブサイトの再構築や啓発パンフレット、映画の日本語字幕の作成など、啓発素材の新たな開発や強化に取り組むことができた。②自立支援事業においては、対象村の選定を行い、採掘労働者の研修開発に着手した。

主な事業内容は以下のとおりである。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 啓発事業

ア ウェブサイト、SNS、メールマガジンによる啓発活動

・内 容

日本語・英語ウェブサイトの充実を図るため、昨年度からの継続した取り組みとして以下を行なっている。

➤ 「英語ウェブサイトの再構築・コンテンツ強化による欧米圏支援者の獲得」

欧米（特に英国、米国）における潜在支援者獲得のため、英国のソーシャルマーケティングのコンサルタントによるオンライン研修を受講し、ターゲットとするペルソナの作成、ターゲットがウェブ上で進む道筋の作成、その道筋に基づくページ作成、写真等素材の撮影、及び英語ウェブサイトの再構築を行った。また、Facebook では英語の広告を運用し、ファン数の増加を図った。

➤ 「代表エッセイ」

村上代表理事によるエッセイ。国際協力・援助の仕事をするようになった経緯や当法人を立ち上げた理由などを、学生時代に遡りこれまでの経験を交え、日本語ウェブサイトで紹介した。

- ・従事者人員 15 人
- ・日時 2018 年 4 月～2019 年 3 月
- ・受益対象者 当法人のウェブサイト、Facebook ページ、Twitter アカウントにアクセスする者及びメールマガジン受信者 のべ 42,736 人
- ・支出額 544,294 円

オンラインの媒体	投稿数/配信数	リーチ数（訪問数）	ウェブサイト 閲覧数(PV)数
日本語ウェブサイト	30	17,298	32,605
英語ウェブサイト	35	6,189	10,131
Facebook ページ	59	32,315	
Twitter	20	5,722	
メールマガジン	11	3,156（のべ購読者数）	
合計	141	64,680	42,736

イ 講演・講義活動

1) 高崎経済大学

・内 容

高崎経済大学の国際経済学ゼミの学生を対象に、ダイヤモンドに関する課題、特に紛争ダイヤモンド及びキンバリープロセスについて講義を行った。同ゼミでは他大学とのインターゼミで紛争ダイヤモンドについて発表する予定である。

- ・日 時 2018年11月11日
- ・場 所 かながわ県民センター
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 受講者 5人
- ・支出額 400円

2) 秋田大学国際資源学科の国際協力特別講義

・内 容

秋田大学国際資源学科の国際協力特別講義にて、『手掘りダイヤモンド採掘労働者自立支援プロジェクト設計のための現地実態調査報告書』がプロジェクト・サイクル・マネージメント(PCM)手法を学ぶための事例として使用された。

- ・日 時 2019年2月9日～12日
- ・場 所 秋田大学
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 受講者 22人
- ・支出額 0円



秋田大学での演習の様子

3) 青山学院大学

・内 容

フランス文化特別講義にゲストスピーカーとして登壇し、ダイヤモンドに関する課題のうち、特にアフリカの手掘り採掘における課題を動画や写真等を用いて発表した。また、ダイヤモンドの課題解決のため日本にいてもできることを伝えた。

- ・日 時 2019年1月10日
- ・場 所 青山学院大学
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 受講者 約100人

・支出額 0 円

4) 玉川学園高等学校

・内 容

玉川学園高校のお昼休みに開催されるグローバルキャリア講座に講師として登壇し、代表理事村上が当法人を設立するまでの軌跡、英語の学習方法、キャリアを考える上でのメッセージを参加者に伝えた。

・日 時 2019年2月14日
・場 所 玉川学園高校
・従事者人員 1人
・受益対象者 受講者約30人
・支出額 0円



玉川学園高校での講演の様子

ウ イベント、勉強会の開催

・内 容

当法人の活動紹介・報告、ダイヤモンドを取り巻く課題についての啓発、情報発信を目的とするイベントを主催し、外部イベントに出展した。

・日 時 2018年4月～2019年3月
・場 所 各イベント実施先
・従事者人員 5人
・受益対象者 参加者 約 100人
・支出額 20,715円

◆ 当法人主催イベント

#	開催日	イベント名	イベント主旨	主催	参加者数
1	2018/6/24	ダイヤモンドを旅しよう-世界初・フェアダイヤモンド実現のための活動進捗報告会-	<ul style="list-style-type: none">リベリアのダイヤモンド採掘労働者自立支援プロジェクト活動進捗報告『ブラッドダイヤモンド-ダイヤモンドをめぐるアンゴラの腐敗と苦悩-』日本語訳の発刊案内ダイヤモンドの課題への意識を調査した『ダイヤモンド白書』の発刊案内	当法人	15名
2	2018/12/2	「みんなでつくる持続可能なサプライチェーン」活動報告会	<ul style="list-style-type: none">リベリアのダイヤモンド採掘労働者自立支援プロジェクトの活動進捗報告欧米におけるジュエリーの透明性のあるサプライチェーン確立に向けた取	当法人	34名

			り組みの共有 ・ プロボノチームによる啓発チラシ作成に関する活動の中間発表とグループディスカッションの実施		
				小計	49名

◆ 外部イベント

#	開催日	イベント名・内容	主催	ブース来場者数
1	2018/10/8	「よこはま国際フェスタ2018」ブース出展	よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営事務局	約40名
2	2019/2/2	「よこはま国際フォーラム」ブース出展、セミナー実施	よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営事務局	約10名
			小計	約50名

エ ニュースレター「The Journey」発行

・内 容

当法人の（潜在）支援者やイベント参加者に活動や予定をよく知って頂く目的で、ニュースレターの発行を開始した。同ニュースレターは英語と日本語の併記で、日本・海外の両方において啓発及び広報ツールとして活用した。第1号はリベリアの採掘労働者及びその家族のストーリー、当法人のこれまでの歩み、啓発活動実績、今後の方針を記載した。

- ・日 時 2018年5月～6月
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 直接配布者 約650人
- ・支出額 41,676円

オ 啓発パンフレット作成（プロボノチャレンジ KANAGAWA）

・内 容

神奈川県主催、NPO サービスグラントが実施する『プロボノチャレンジ KANAGAWA 2018』に参加した。サービスグラントの呼びかけに集まった4名のプロボノが中心となり、ダイヤモンド購買者の行動変容を促すための啓発チラシを作成した。プロボノチームはチラシ作成にあたり、類似資料の収集、関係者へのアンケート、イベントでのチラシ試作品テストなどを行った。完成した啓発チラシは、ダイヤモンド採掘労働者家族の写真を表紙に、採掘に関わる問題やジュエリーショップで客から店員に質問してほしい3つのポイントを紹介している。啓発チラシは、2019年度に印刷し、イベントなどを通じ配布予定である。

- ・日 時 2019年9月～2019年3月
- ・場 所 当法人事務所等
- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 ダイヤモンドの（潜在）消費者 約1,000人
- ・支出額 210円



最終チラシ案を手にするプロボノチームメンバーとDFP理事

カ 短編ドキュメンタリー映画「Voices from the Mine」翻訳プロジェクト

・内 容

西アフリカのシエラレオネ共和国における手掘りダイヤモンド採掘の現状を、英国のバース大学が「Voices from the Mine」という30分の短編映画にまとめ2018年にオンラインで公開した。本映画で取り上げられている手掘りダイヤモンド採掘に関する現状は、リベリアをはじめアフリカの産出国に共通であり、当団体が取り組むダイヤモンドに関する課題を一般の人々に伝えるのに適している映像である。当法人は、本映画の著作権者から許可を得て、日本語字幕制作に取り組んでおり、2019年4月に完成予定である。

- ・日 時 2018年7月～2019年3月
- ・場 所 当法人事務所等
- ・従事者人員 11人
- ・受益対象者 生徒・学生、ダイヤモンドの（潜在）消費者、業界関係者 約1万人
- ・支出額 0円

キ 欧米におけるエシカルジュエリー関連カンファレンスへの参加及び啓発

・内 容

ロンドンで開催されたFair Luxury及びシカゴで開催されたChicago Responsible Jewelry Conferenceに参加し、欧米のエシカルジュエリー業界の動向の把握や当法人の活動に関する啓発を参加者に対して実施した。

- ・日 時 2018年7月～2018年10月
- ・場 所 ロンドン、シカゴ
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 カンファレンス参加者合計約100名
- ・支出額 533,172円

ク ダイヤモンド白書英語版の発刊

・内 容

昨年度発刊したダイヤモンド白書日本語版を英語に翻訳し、英語版を発刊した。

- ・日 時 2018年4月～6月
- ・場 所 当法人事務所
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 英語圏で日本におけるダイヤモンド業界動向に興味のある者
約1,000人
- ・支出額 0円

② 自立支援事業

ア 活動対象村の選定

・内 容

当法人がこれから活動を展開する対象村をリベリア国にて選定した。リベリアの西部地方の候補4村をそれぞれ2～3回訪問し、当法人のビジョン・ミッションや展開予定の活動の説明、採掘労働者等の組織化の進捗度合いの調査、村の自助プロジェクトに関する調査、当法人が実施予定の活動へのやる気度合いを調査した。その結果、自らを組織化し自助プロジェクトを積極的に実施しているウィズア村を対象村として選定した。

- ・日 時 2018年4月～2019年3月
- ・場 所 当法人事務所およびリベリア共和国
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 プロジェクト対象地の採掘労働者とその家族、現地関係機関の者等
約200人
- ・支出額 679,952円

イ 採掘労働者チームビルディング研修プログラムの開発

・内 容

リベリア共和国において、人権の搾取や貧困に苦しむ手掘りダイヤモンド採掘労働者たちが、搾取されず人権が守られ、その結果として彼らが豊かになるフェアなダイヤモンドを実現するための準備を進めている。実現の方法として、手掘り採掘労働者たち自らが組織化し、組織力を高めていくことで収入や生活環境を改善できると考えているが、現状は、これまで個々人で採掘労働をはじめとする日々の活動を行ってきた採掘労働者たちは、「チームとして機能する」という概念が薄い。そこで、彼らが組織として機能するための基礎的能力を身につけることを目的にチームビルディング研修プログラムを開発した。研修プログラムは、2019年度にプロジェクト対象村で実施予定である。

- ・日 時 2018年7月～2019年3月
- ・場 所 当法人事務所およびリベリア共和国
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 プロジェクト対象地の採掘労働者とその家族、現地関係機関の者等
約200人
- ・支出額 51,305円

